



地域の課題を解決するために市と一緒に取り 組むことでより効果が高まる事業を、市民公益 活動団体が市に提案する「協働事業市民提案制 度」。今年度は自転車に関する取り組みが進めら れています (下記)。

今回のきょうどう通信「協DO」では、提案を した銀輪亭倶楽部の山内代表と健康増進課の職 員に話を聞きました。

きょうどう通信 協DO vol.2

発行: 平成29年(2017年)2月

編集: 市民協働部コミュニティ政策課

連絡先: 6858-2041

M npo@city.toyonaka.osaka.jp で意見・お問合せは上記へお願いします。

納得するまで

話し合う

協働ってこんなんやで

事業をつくりあげる中、双方がアイデアを出し 合うことで、団体と市が持つ強みがわかり、どのよ うに協力しあうかを納得のいくまで話ができたこと が良かったと思います。

いつも健康を身近に感じてもらえるようテーマ や媒体を工夫していますが、実技や体験談など、健 康増進課だけではできなかったアプローチ方法を用 いた臨場感のある講座を実施できました。

私たちの日々の業務の中で、工夫を重ねている つもりでもマンネリ化してしまいがちなこともある と思います。その部分を団体から新しい切り口で見 てもらえるのが「協働」のひとつの魅力だと思います。 成功 の 秘訣 は

の協

成果は

なら

で

は

協働の取組み事例を紹介し、協働への疑問にお答えします!

健康増進課と綿密な打ち合わせを繰り返し行 い、講座のリハーサルの時間をもてたこと。また、 関連自転車店や交通安全フェア(交通政策課との協 働) での案内チラシの配布に協力いただけたこと。

市と一緒に講座をすることにより、私たちの 趣味であるサイクリングが、健康の保持・増進に役 立つスポーツとして認識され、私たちの知識・経験 を豊中市民の皆さんに伝えられたと思います。

協働事業などで市民と触れ合う機会をつくり、 市の職員が市民感覚を共有できる存在であることを 市民の皆さんに理解してもらえると、円滑なまちづ くりにつながると思います。

協働ってこんなんやで

協働

住みよい豊中市になる 市との関係を構築す より郷土愛が育まれ 、の団体



市民健康講座



X ツ職セ員 ジのを

「自転車運転技術向上がもたらす安全社会の実現」



健康効果を紹介する講座を実施し、自転 車を用いた健康増進の取組みを行います。



小・中学生を対象とする交通安全教室を 地域で実施します。



の調査を行います。

自転車で市道を点検走行し、危険な箇所

健康增進課 浦勇太さん

健康增進課主事 田所真衣さん

協働で学んだことは?

柔軟な発想

サイクルスポーツを軸とした各種イベントや講習や幅広い市民ス ポーツへの参加の機会と場所の提供に関する事業を行い、参加会員 の健康増進及び親睦を図ることを目的とする豊中の自転車愛好家で

銀輪亭倶楽部(ぎんりんていくらぶ)